

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

NISE

National Institute of Special Needs Education

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 (NISE) は、
我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターとして、
障害のある子どもと障害のない子どもが共に学ぶことを
目指したインクルーシブ教育システムの推進に向けて、
特別支援教育に関する研究活動や研修事業、
情報収集・発信及び理解啓発を推進して参ります。

理事長あいさつ

今年度は、独立行政法人として、5年間にわたる第4期中期目標期間の最終年度に当たります。そのため、今後を展望して、第5期中期計画を策定する必要があります。特別支援教育を取り巻く状況の変化は著しく、本研究所には、それに対応した運営が求められます。関係機関と連携協力の下、研究活動、研修事業、情報収集・発信等を行い、特別支援教育の充実に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

令和2年4月

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 (NISE) 理事長 穴戸 和成

沿革

昭和46年10月 国の所轄機関として国立特殊教育総合研究所設置

平成13年 4月 独立行政法人化（主務大臣：文部科学大臣）

平成19年 4月 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所に名称変更

平成20年 4月 発達障害教育情報センター設置

平成28年 4月～令和3年 3月

第4期中期目標期間（令和2年度は第4期中期目標期間の5年目）

平成28年 4月 インクルーシブ教育システム推進センター設置

平成29年 4月 発達障害教育推進センター設置（発達障害教育情報センターの機能拡充）

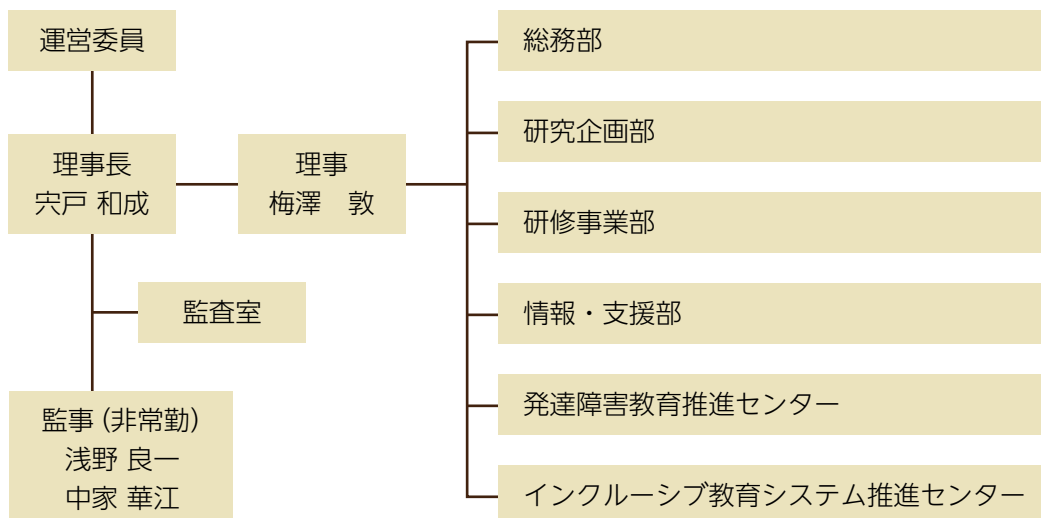
役員・職員数

合 計	71 (4)	
役 員	2 (2)	
研 究 職	40 (2)	
一 般 職	29	R2.4.1時点 () 内は非常勤で外数

令和2年度の財政規模

区分	金額(千円)
運営費交付金	1,102,796
施設整備費補助金	0

組 織



特別支援教育とは

- ・障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。
- ・従来の特殊教育が対象としていた障害だけではなく、知的な遅れのない発達障害も含めて、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する全ての学校において実施されるものです。
- ・障害のある幼児児童生徒への教育にとどまらず、障害の有無やその他の個々の違いを認識しつつ様々な人々が生き生きと活躍できる「共生社会」の形成の基礎となるものです。

(詳しくは、「特別支援教育の推進について」(平成19年4月1日付け文部科学省初等中等教育局長通知)を御覧ください。)

インクルーシブ教育システムとは

- ・障害者の権利に関する条約第24条によれば、人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みのことです。
- ・「共生社会」の形成に向けて、上記の条約に基づくインクルーシブ教育システムの理念が重要であり、その構築のため、特別支援教育を着実に進めていく必要があります。
- ・インクルーシブ教育システムにおいては、同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、個別の教育的ニーズのある幼児児童生徒に対して、自立と社会参加を見据えて、その時点で教育的ニーズに最も的確に答える指導を提供できる、多様で柔軟な仕組みを整備することが重要です。通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった、連続性のある「多様な学びの場」を用意しておくことが必要です。

(詳しくは、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」)
(平成24年7月23日中央教育審議会初等中等教育分科会報告)を御覧ください。)

研究所の活動(第4期中期目標より)

ミッション(使命)

我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターとして、国や地方公共団体等と連携・協力しつつ、特別支援教育を取り巻く国内外の情勢の変化も踏まえた国の政策課題や教育現場の課題に柔軟かつ迅速に対応する業務運営を行い、もって障害のある子ども一人一人の教育的ニーズに対応した教育を実現し、インクルーシブ教育システムの構築に向けて貢献することをミッション(使命)とする。

ミッションを達成するためのビジョン(方向性)

- ①国の特別支援教育政策立案及び施策の推進等に寄与する研究及びその成果の普及
- ②各都道府県等における特別支援教育政策や教育実践等の推進に寄与する指導者の育成や資質向上に係る支援
- ③特別支援教育に関する情報収集・情報発信及び関係者の理解促進、効率的、効果的な情報提供
- ④インクルーシブ教育システム推進センターの設置による、各都道府県・市町村が直面する課題の解決に寄与する取組等の実施

特別支援教育の振興に寄与

研究活動

国の政策的課題や教育現場の課題に対応した研究の推進

文部科学省との緊密な連携の下、国の特別支援教育施策の推進に寄与する「基幹研究」のほか、インクルーシブ教育システムの構築に向けて、地域や学校が直面する課題の解決のために、地域と協働で実施する「地域実践研究」を計画的に行っています。研究の実施にあたっては、中期目標期間における「研究基本計画」を立案の上、外部の意見も伺いながら課題を設定し、原則2年間（障害種別共通の横断的研究は、原則5年間）で研究成果をまとめることとしています。

▶▶ 詳しくはこちら：

<https://www.nise.go.jp/nc/study>

令和2年度研究課題

●基幹研究（横断的研究）

①我が国におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する総合的研究
ー地域と学校での主体的取組を支援する「インクルCOMPASS」の提案ー

②特別支援教育における教育課程に関する総合的研究
ー新学習指導要領に基づく教育課程の編成・実施に向けた現状と課題ー

●基幹研究（障害種別研究）

③聴覚障害教育におけるセンター的機能の充実に関する研究

ー乳幼児を対象とした地域連携ー

④知的障害特別支援学級担当者サポートキットの開発ー授業づくりを中心にー

⑤小・中学校における肢体不自由のある児童生徒への指導及び支援のための
地域資源を活用した授業改善に関する研究

⑥社会とのつながりを意識した発達障害等への専門性のある支援に関する研究
ー発達障害等の特性及び発達段階を踏まえての通級による指導の在り方に焦点を当ててー

●地域実践研究

⑦インクルーシブ教育システムの理解啓発の推進に関する研究

⑧交流及び共同学習の充実に関する研究

上記の他にも、基礎的研究活動等（障害種別）、外部資金（科研費・民間助成）による研究活動を実施。

研究成果

研究の成果は、「研究成果報告書」やその要旨をわかりやすくまとめた「研究成果報告書サマリー集」「リーフレット」等としてウェブサイトにおいて公開しています。また、ガイドブックの作成、セミナーの開催等により教育現場等への普及を図っています。

最新の刊行物・研究成果物等（一部）

研究成果 報告書	精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的支援・配慮に関する研究 平成31年3月	
	視覚障害を伴う重複障害の児童生徒等の指導に関する研究 ー特別支援学校（視覚障害）における指導を中心にー 平成31年3月	
	研究成果報告書サマリー集（平成30年度終了課題） 令和元年5月	
定期刊行物	国立特別支援教育総合研究所研究紀要 第47巻 令和2年3月	
	NISE Bulletin Vol.19 令和2年3月	
	国立特別支援教育総合研究所ジャーナル 第9号 令和2年3月	
書 籍	インクルーシブ教育システム構築のための学校における体制づくりのガイドブック ー全ての教員で取り組むためにー (株) 東洋館出版社, ISBN978-4-491-03373-0 平成29年7月	
	小学校・中学校 通常の学級の先生のための手引き書ー通級による指導を通常の学級での指導に生かすー (株) ジアース教育新社, ISBN978-4-86371-450-2 平成30年2月	
	「知的障害のある子どもと共に学ぶ」を考えるー北欧の実践をふまえてー (株) ジアース教育新社, ISBN978-4-86371-489-2 平成31年1月	
リーフレット ・ ガイドブック ・ 事例集	聴覚障害教育 指導実践事例集 平成30年3月	
	自閉症のある子どもの指導目標の設定・見直しにおけるポイント ー子どもの主体的な学びを引き出すためにー 平成30年3月	
	通常の学級と通級による指導の学びの連続性に焦点を当てて 平成30年3月	
	「我が国のインクルーシブ教育システム構築に関する総合的研究」調査報告 平成30年3月	

研修事業

都道府県等において指導的役割を果たす教職員を対象とした研修の実施

都道府県等における特別支援教育の指導的な役割を果たす教職員を対象とし、約2か月間の特別支援教育専門研修（年3期：計210名程度）や、インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会（3協議会：計240名程度）及びセミナー（年1回：70名程度）、全国特別支援学校長会との連携研修（年2回：計110名程度）を実施し、各都道府県等の指導者の養成を図っています。



特別支援教育専門研修の成果報告会

インターネットによる講義配信「NISE学びラボ～特別支援教育eラーニング～」

障害のある児童・生徒等の教育に携わる教員をはじめ、幅広い教員の資質向上の取組を支援するため、特別支援教育に関する講義を収録し、インターネットにより学校教育関係者等へ配信しています。個人登録を行うことによって、120以上の講義がパソコンやタブレット端末、スマートフォン等で、誰でも無料で視聴できます。

また、団体登録を行った教育委員会や学校等は、受講者のニーズに合わせて研修プログラムを設定し、教職員等の研修に活用することができます。

▶▶ 詳しくはこちら：

https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online



講義配信の視聴画面



免許法認定通信教育総合情報サイト

免許法認定通信教育の実施

特別支援学校教諭免許状保有率の向上のため、特に保有率の低い視覚障害教育領域及び聴覚障害教育領域の講義について、インターネットを利用した「免許法認定通信教育」を実施しています。

▶▶ 詳しくはこちら：

<http://forum.nise.go.jp/tsushin/>



情報収集・発信及び理解啓発

ウェブによる情報発信・研究所公開

ウェブサイトや「特総研ジャーナル」、メールマガジンの発行等を通じてNISEの研究成果や特別支援教育全般に関する情報を総合的に提供しています。また、NISEの諸活動をより深く知っていただくため、「研究所公開」を毎年度開催しています。



研究所公開



発達障害教育実践セミナー

発達障害教育に関する理解啓発と実践的な指導力向上のための情報提供

「発達障害教育推進センター」では、インターネットを通じて発達障害教育に関する最新情報を国民に幅広く提供し、理解啓発の普及を推進するとともに、発達障害のある子どもの教育に関する基本的な知識と指導・支援に関する具体的な情報を発信しています。また、発達障害教育に関する研究成果の普及や教育実践セミナーの開催等を通じて、自治体との連携や教育現場の実践的な指導力の向上を図っています。

シンポジウム・セミナーの開催

研究成果の普及促進や教育現場等との特別支援教育に関する情報共有を図るため、「研究所セミナー」を毎年度開催しています。また、世界自閉症啓発デーに対応した行事を、関係団体とともに毎年度開催しています。



研究所セミナー シンポジウム



研究所セミナー ポスター発表

特別支援教育における支援機器等教材の普及

障害の状態や特性等に応じた教材、支援機器等の活用に関する情報などを集約し、データベース化した特別支援教育教材ポータルサイト（支援教材ポータル）を運用しています。また、特別支援教育教材・支援機器に関する研修会・展示会を開催し、様々な利用者、関係者への情報共有、提供を行うとともにその普及活動に取り組んでいます。

▶▶▶ 詳しくはこちら：<http://kyozai.nise.go.jp/>



支援教材ポータル

【内容】

- ・教材・支援機器検索
- ・実践事例検索
- ・教材・支援機器に関する情報
- ・研修・展示会情報

インクルーシブ教育システムの推進

地域実践研究の推進

インクルーシブ教育システムの構築に向けて、研究所の研究職員と教育委員会より派遣された地域実践研究員による研究グループを組織して、地域の課題・実情に応じた研究を推進しています。令和2年度は11県市町に参画いただき、2つの研究のテーマの下、12件の課題に取り組んでいます。また、平成28年度からの研究について、「地域におけるインクルーシブ教育システムの推進の成果と展望に関する研究」としてまとめています。

これらの研究成果については、各地域で地域実践研究フォーラム等を開催し、普及に努めています。

地域が直面する課題の解決に関する研究の推進

	研究テーマ	
	メインテーマ1 インクルーシブ教育システムの構築に向けた体制整備に関する研究	メインテーマ2 インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育に関する実証的研究
H28・29	地域におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する研究	交流及び共同学習の推進に関する研究
	インクルーシブ教育システム構築に向けた研修に関する研究	教材教具の活用と評価に関する研究
H30・R01	教育相談、就学先決定に関する研究	多様な教育的ニーズに対応できる学校づくりに関する研究
	インクルーシブ教育システムの理解啓発に関する研究	学校における合理的配慮及び基礎的環境整備に関する研究
R02	インクルーシブ教育システムの理解啓発の推進に関する研究	交流及び共同学習の充実に関する研究

インクルーシブ教育システム構築を支援するデータベース（インクルDB）の運用

インクルDBは、子どもの実態から、どのような基礎的環境整備や合理的配慮が有効かについて、参考となる事例を紹介しています。また、様々な関連情報を掲載しています。

【内容】

- ・「合理的配慮」実践事例（令和2年3月末現在472事例掲載）
- ・関連する法令・施策
- ・関係用語の解説
- ・インクルーシブ教育システム構築に関するQ&A 等

▶▶ 詳しくはこちら：<https://inclusive.nise.go.jp/>



インクルDBのホームページ

国際動向の把握や海外との研究交流



NISE特別支援教育国際シンポジウム

諸外国のインクルーシブ教育システム構築に関する最新動向を調査し、小冊子やホームページ等で情報提供をしています。また、海外の研究機関や大学との交流を図り、特別支援教育に関する「国際シンポジウム」を開催しています。また、海外の教育行政担当者や学校教員等の視察・研修を受け入れています。

小冊子「諸外国におけるインクルーシブ教育システムに関する動向－令和元年度別調査から－」



インクルーシブ教育システム普及セミナー－国内外の取組から今後を展望する－
令和2年11月28日（土） 国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催予定

体育施設のご利用案内

体育館やフットサルコートをご利用いただけます。

＜ご利用可能時間＞

体育館：9時～19時

フットサルコート：9時～17時

土曜・日曜・祝祭日も

ご利用いただけます。



▶▶ 詳しくはこちら：

https://www.nise.go.jp/nc/physical_education



交通案内

京浜急行電鉄ご利用の場合

京急久里浜駅下車

- ・[久3]系統・久里浜医療センター行で約15分、
国立特別支援教育総合研究所下車すぐ
- ・[久8]系統・野比海岸行で約20分、終点下車300m

又はタクシー約8分

YRP野比駅下車

徒歩20分、又はタクシー約5分

JR横須賀線ご利用の場合

久里浜駅下車

- ・[久8]系統・野比海岸行で約15分、終点下車300m
- 又はタクシー約10分



 独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所
NISE National Institute of Special Needs Education

〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5-1-1

TEL：046-839-6803 FAX：046-839-6918（総務部総務企画課）

URL <https://www.nise.go.jp/nc/>



このパンフレットで紹介した研究成果報告書、特別支援教育研修講座、特総研ジャーナル、メールマガジン、発達障害教育推進センター、研究所公開、研究所セミナー、インクルDBなどの詳しい内容は、**NISE** でまとめて検索できます！